

新たな里山再生に向けて

「里山再生」「森の遊び場」「SDGS環境教育」の各分野の専門家による全国の先進的な状況を紹介し、東園地で取り組む「新たな里山再生」の可能性を探ります。里山の多様な利活用に興味関心のある方でしたらどなたでも参加できます。木場潟の里山を・石川の里山を・みんなの里山に再生していきましょう。

10月23日(日)
里山再生コース

『里山の過去と現在から未来を探る』

田中 淳夫氏(たなか あつお)

森林ジャーナリスト

定員100名



1959年大阪府生まれ、奈良県在住。静岡大学農学部を卒業後、出版社、新聞社を経て、フリーの森林ジャーナリストに。森林、林業、山村などをテーマに執筆活動を続けている。主な著作に、『いま里山が必要な理由』(洋泉社)『割り箸はもったいない?』(ちくま新書)『森と日本人の1500年』(平凡社新書)『森は怪しいワンダーランド』(新泉社)『獣害列島』(イースト新書)『虚構の森』(新泉社)などがある。

10月30日(日)
森の遊び場コース

『森や里山での 子どもの生きる力を育む体験遊び活動』

高子 未乃梨氏 たかね みのり

銀河の森プレイパーク

定員50名



「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに全国展開しているデンマーク発祥の「冒険遊び場」を支援する日本冒険遊び場づくり協会・神奈川地域運営委員。日本初常設の冒険遊び場・羽根木プレイパークと出会い、世田谷でのプレイパーク運営、また山村留学発祥団体はじめ塾の理事を経て、全国の遊び場運営や子どもの居場所づくりのコーディネート。国有地の一角がまるで秘密基地のような野性味溢れる銀河の森プレイパークのプレリーダーとしても活動中。

11月13日(日)
SDGsコース

『「自分事」をキーワードにした 環境教育と参加型の公園づくり』

ホールアース自然学校

大武 圭介氏(おおたけ けいすけ)

定員50名



愛知県出身。筑波大学大学院修了後、民間の自然学校に3年間勤務。岐阜県立森林文化アカデミーを経て、2003年ホールアース自然学校へ入社。現在、NPO法人ホールアース研究所副代表理事、岐阜県立森林文化アカデミーmorinos(森林総合教育センター)担当。専門は環境教育/エコツーリズムを中心とした自然学校の運営、地域づくり、ガイドの育成、ツアープログラム開発など。

遠藤 亮氏(えんどう あきら)

千葉県出身。慶應義塾大学卒業後、三井住友海上火災保険、ベンチャーリンクを経て、ホールアース自然学校へ入社。現在、新潟県柏崎市にある「柏崎・夢の森公園」を担当。専門は、施設型自然学校・指定管理施設の企画・運営、ビジュアル・コミュニケーション、ファシリテーションなど。



各会共通

〒923-8610 石川県小松市こまつ杜2番地

会場

サイエンスヒルズこまつ わくわくホール

時間

14:00 ~ 16:00 開場 13:30 事前申し込みが必要です
開演 14:00 終了 16:00

入場無料



木場潟公園東園地ボランティア・サポートスタッフ養成講座3コースを開催予定!

- ◎ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、咳エチケット、マスクの着用、距離の確保にご協力ください。
- ◎ 発熱されている方や、体調のすぐれない方は、参加をお控えください。

お申込みは、こちらから →



※定員になり次第締め切ります。

主催 石川県土木部公園緑地課 木場潟公園整備グループ
◆お問合わせ先◆ 〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL:076-225-1772

里山再生コースは、里山活性化協議会(小松市)と共催で開催します。